



遠賀中間医師会

2022年12月26日発行

第17号

在宅総合支援センターだより

在宅医療・介護連携推進事業



▶ 令和4年9月3日(土) 住民公開講座を開催しました ◀

基調講演



座長



遠賀中間地域 在宅医療・介護連携推進事業 住民公開講座

コロナ時代を共に生きる ～高齢者の方が安心して暮らせる地域づくり～

● 座長

遠賀中間医師会病院 統括院長 杉町 圭蔵 氏

● 基調講演

「地域における新型コロナウイルスの現状とポストコロナの展望」

講師:福岡県宗像・遠賀保健福祉環境事務所 保健監 加藤 千鈴 氏

● パネルディスカッション

「新型コロナウイルスを想定した新しい生活様式と在宅療養について」

パネリスト:福岡県宗像・遠賀保健福祉環境事務所 保健監 加藤 千鈴 氏

遠賀中間医師会おんが病院 院長 矢田 親一朗 氏

特別養護老人ホーム 恵の家 施設長 花田 智加 氏

中間市介護保険課生活支援コーディネーター 原 舞 氏

岡垣サンリーアイハミングホールにおいて住民公開講座を開催いたしました。新型コロナウイルスの影響により、3年ぶりの開催となりました。

今回の講座では、コロナ禍における高齢者の生活について取り上げました。「コロナ時代を共に生きる ～高齢者の方が安心して暮らせる地域づくり～」をテーマに、基調講演では、新型コロナウイルスについて発生状況や治療法、保健医療体制、今後の展望についてお話していただきました。

パネリストからは、①新型コロナウイルス感染症に対応した医療機関の取り組みについて②地域の高齢者施設から新型コロナウイルスへの取り組みについて③生活支援コーディネーターから地域高齢者の生活を支援する取り組みについて講演していただきました。

パネルディスカッションでは、「新型コロナウイルスを想定した新しい生活様式と在宅療養について」をテーマに、コロナ禍におけるそれぞれの取り組みなどを通して、現状についての報告や問題点、今後についての議論が展開されました。

また、会場前に設けた、遠賀郡4町・中間市のコーナー、福岡県宗像・遠賀保健福祉環境事務所のコーナー、医療機器・福祉用具のコーナー、一般財団法人日本尊厳死協会のコーナーには、ご参加いただいた方が公演前後に関心深く立ち寄りされていました。

終了後のアンケートでは、「地域で行っている支援の状況がよく分かった」「コロナ禍でも出来ることを進めていく」「協力しながら乗り越えていく」といった意見等をいただきました。

< パネルディスカッション >



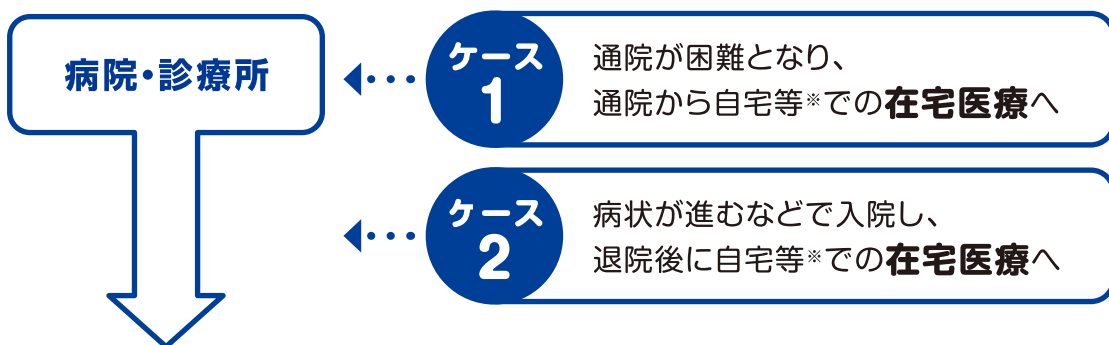
特集コーナー

今回は「在宅医療について」「遠賀中間医師会おんが病院訪問診療部の取り組み」をご紹介します。

◆ 在宅医療について

通院が難しくなったときや、退院後、自宅等^{*}でも医療を受けられます。

困ったときのために、前もってかかりつけの医師やケアマネジャーと相談し、色々な選択肢を見つけておきませんか？

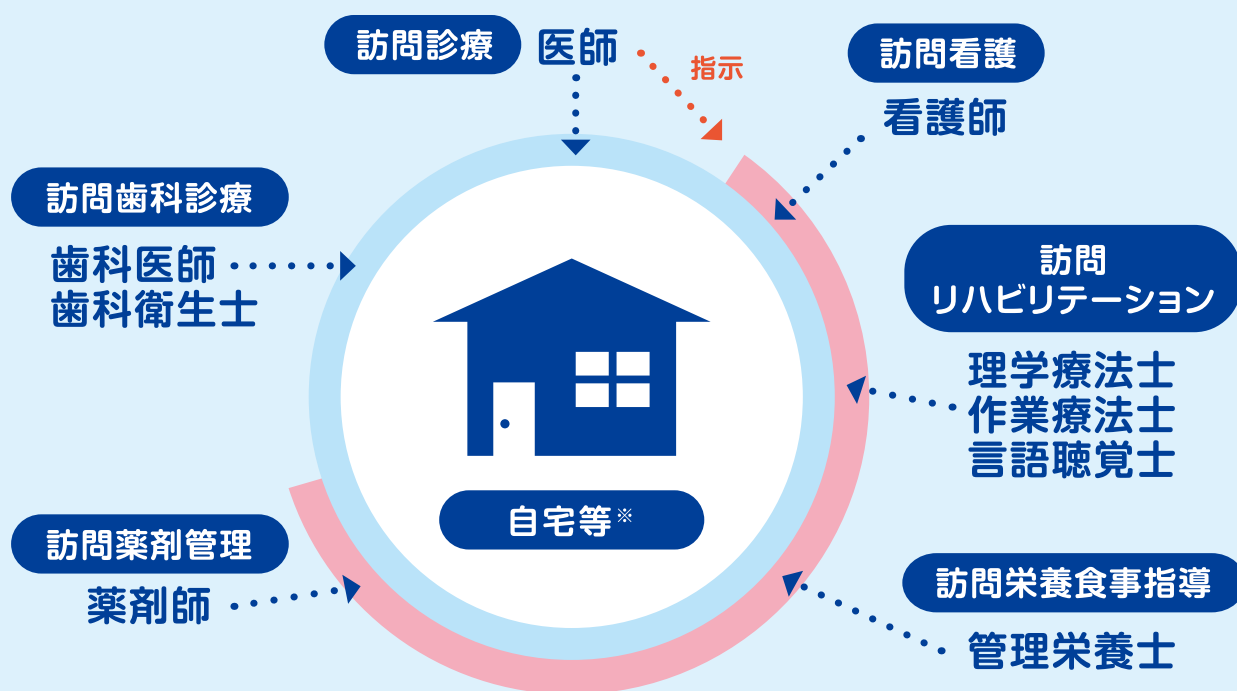


※例えば、年齢・疾患・病状によって、自宅のほか高齢者住宅等のお住まいで、医療を受けることも可能。

在宅医療 ~自宅等で受ける医療~

在宅医療では

医師の指示のもと、それぞれの専門知識をもつ医療職が連携し、あなたの自宅等を訪問することで専門的なサービスを受けられます。



地域によって受けられるサービスが異なる場合もありますので、医師・ケアマネジャー等とも相談しましょう。

厚生労働省「在宅医療に関する普及・啓発リーフレット」より(一部改変)

おんが病院訪問診療部の紹介

おんが病院訪問診療部の取り組み

- 通院が困難な患者様への「かかりつけ医」として定期的に訪問診療を行います。
- 終末期医療（ターミナルケア）、看取りについても積極的に受け、対応します。
- 緊急時に「24時間365日」対応が可能です。
- 緊急時にはおんが病院との連携を主にサポートいたします。
- 訪問看護ステーションとの連携体制やご家族のご意向により、ご提供する医療資質も変化いたしますので詳細な医療体制の在り方につきましては、ご相談下さい。

在宅医療（訪問診療）とは

在宅医療（訪問診療）は、具合が悪くなった時だけ医師が診療に訪問するのではなく、お一人で通院が困難な患者さまの自宅や施設に、医師が定期的に診療に伺い、計画的に医療サービスを提供するものです。

定期訪問に加え、緊急時には365日×24時間体制で対応、必要時に応じて臨時往診や入院先の調整なども行います。



訪問診療の対象となる方

- お一人で通院するのが難しい方
- ご家族の介護で手が離せない方
- 高齢で定期的な健康管理が必要な方
- 認知症や寝たきりの方
- 介護サービスを受けている方
- パーキンソン病などの難病の方
- 経管栄養・カテーテル類・人工呼吸器の管理が必要な方
- 癌の治療が終了し、最期まで自宅で過ごしたい方

訪問診療開始までの流れ

- 1 おんが病院地域医療連携室に問い合わせ下さい。
TEL:093-281-2810 (代表電話)
- 2 訪問診療部の看護師より連絡をさせていただきます。
その際ご都合を伺って医師が訪問する日を決めます。
- 3 訪問診療開始
初回訪問時に契約書・同意書をお持ちいたします。
各種保険証（医療保険・介護保険・その他公費負担関係）
お薬手帳もしくは服用しているお薬の証明書をご用意下さい。



研修会、出前講座計画

新型コロナウイルス感染症等により、中止を含めた内容変更の場合があります。



●**出前講座** 地域住民の皆様へ在宅医療に関する情報の普及啓発を図ることを目的に実施しています。詳細は、在宅総合支援センターまでお問い合わせください。

メディカルケアステーション(MCS)

医療・介護従事者のためのコミュニケーション・情報共有ツール

MCSは医療介護専用の完全非公開型SNSで、多職種連携のためのコミュニケーション、情報共有ツールです。必要な情報を関係者間で共有することができます。

遠賀中間地域連携コミュニティ

遠賀中間地域の医療機関・介護サービス事業所等を対象として、MCSの自由グループを作成しています。コミュニティに参加してつながりに登録すると患者グループへの招待や参加がスムーズに行えます。また、参加者(多職種)間の交流の場としています。詳細は、在宅総合支援センターまでお問い合わせください。



遠賀中間地域在宅医療・介護資源マップ

遠賀中間地域在宅医療・介護資源マップを在宅総合支援センターのホームページに掲載しています。

遠賀中間地域の医療機関や介護サービス事業所を、カテゴリ(種別)やエリア、名称等から検索して閲覧することができます。在宅総合支援センターのホームページから、どなたでもアクセスできます。ぜひお気軽にご利用ください。



在宅医療に関する医療機器整備(無料貸出)

当センターでは、在宅医療に使用する医療機器、研修用シミュレータを医療機関及びサービス事業所に無料貸し出しを行っています。借用の手続きや貸出物品などの詳細は在宅総合支援センターのホームページをご覧ください。

＜医療機器貸出物品＞
○ ポータブル吸引器
○ ポータブル吸入・吸引両用器 ○ ネブライザー ○ 点滴スタンド
○ 自然落下式輸液ポンプ ○ PCAポンプ ○ カフティポンプ
○ カフ圧計 ○ 血液ガス分析器(携帯用) ○ もの忘れ相談プログラムなど



PCAポンプ



血液ガス分析器
(ガスタットナビ)

※ジェット式ネブライザーを1台導入しています

在宅医療に関する相談窓口について

在宅総合支援センターには在宅医療・介護に関する相談窓口があります。お電話でのご相談も行っています。専門のスタッフがおりますので、お気軽にお問い合わせ下さい。

在宅医療相談窓口

受付時間 月～金曜日
9時～16時
電話 093-281-3100
FAX 093-281-3105



発行 遠賀中間医師会 在宅総合支援センター

〒811-4342 遠賀郡遠賀町大字尾崎1725番地2
TEL 093-281-3100 FAX 093-281-3105
URL : <http://www.onnaka-med.or.jp/zaitaku/>